

会員企業の声やニーズ を大切に、

会員企業参加型の開発会議を通じて、グループPB(プライベートブランド)「くらし良好」が開発されています。

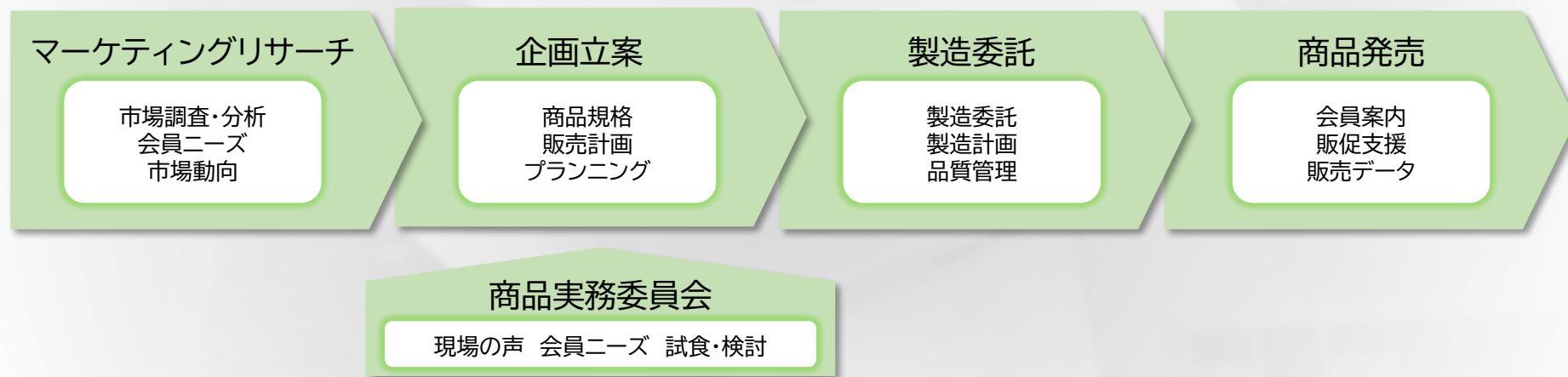
グループ共有のプライベートブランドは、全会員の共有資産でもあります。常に会員企業の声やニーズをキャッチし、様々な開発検討会議などを通じて **会員企業参加型で商品開発** が行われています。

また、全会員企業の意向も踏まえ、会員各社での **取扱い数量確約を前提とした開発アイテム(みんなで売る！と決めた商品)** をグループ全体で売り込むことで、マスメリットの追求も行っています。

開発フロー

商品開発の段階から、会員企業との“協業”は始まります。

実務委員会を通じて、会員企業の生の声やニーズが的確に商品開発に活かされます。



商品実務委員会

各部門に「商品実務委員会」を設置し、委員会企業のバイヤーや商品責任者に参加頂いています。
この「会員企業参画型の商品開発」は1975年から続く取組みです。



商品検討会

PB試食や商品規格、情報共有(各社の成功事例・好調商品の共有)などを行う「商品検討会」を設置しています。
全国の会員企業のバイヤーや商品責任者が一堂に会する貴重な場となっており、部門別の分科会を通じて出された貴重なご意見を、商品開発に活かしています。



会員企業・得意先からの常温商品を中心とした受注を「コプロ受注センター」が管理し、全国の会員企業へデリバリーする「コプロ配送センター」を東西2拠点配備しています。発注～納品まで迅速かつ安定的に対応しています。

コプロ配送センター

